

A decorative graphic on the left side of the slide, composed of several overlapping squares in various shades of blue and purple, arranged in a stepped pattern.

2011年3月期 第3四半期 決算概要

2011年2月

稲畑産業株式会社

2011年3月期 第3四半期 決算総括

<ポイント>

- 売上高は、主力の情報電子や合成樹脂分野に加え、化学品分野でも概ね回復傾向となり、対前年同期比 20.2%増の3,529億円
- 営業利益は、売上高の増加に加え、利益率の改善等により、対前年同期比 110.7%増の64億円
- 経常利益は、営業利益の改善に加え、持分法による投資損失の減少等により、対前年同期比 126.3%増の68億円
- 純利益は、固定資産除却損の計上があったものの、関係会社株式売却益の計上等により、対前年同期比 357.8%増の52億円

連結	2010年3月期 第3四半期	2011年3月期 第3四半期	前年同期比
売上高	2,935億円	3,529億円	20.2%
営業利益	30億円	64億円	110.7%
経常利益	30億円	68億円	126.3%
四半期純利益	11億円	52億円	357.8%
1株当り 四半期純利益	17円59銭	80円63銭	

2011年3月期 第3四半期 B/S

①景気回復基調に伴う売上債権及び棚卸資産の増加

②保有する投資有価証券の時価下落

単位：百万円

(資産の部)				(負債／純資産の部)			
	10/03	10/12	増減		10/03	10/12	増減
現金及び預金	5,463	8,989	3,525	支払手形及び買掛金	84,400	92,582	8,181
受取手形及び売掛金	125,638	134,485	8,847	短期借入金	41,537	45,322	3,785
棚卸資産	24,593	28,998	4,404	その他流動負債	6,165	7,693	1,527
その他流動資産	7,135	6,729	△405	長期借入金	17,226	14,760	△2,466
有形固定資産	10,787	10,150	△636	その他固定負債	12,170	10,248	△1,922
無形固定資産	7,880	6,940	△939	株主資本	56,841	61,197	4,356
投資有価証券	41,898	37,849	△4,048	評価・換算差額等	10,964	7,769	△3,195
その他固定資産	6,567	6,147	△419	その他純資産	658	716	58
資産合計	229,964	240,291	10,326	負債純資産合計	229,964	240,291	10,326

2011年3月期 第3四半期 事業セグメント別売上高

情報電子 ⇒ 対前年同期比 +20.3% 254億円増

- ✓ 液晶関連は、主力の偏光板で第2四半期の生産調整の影響が残ったものの10月ごろから回復
- ✓ プリンター・複写機関連は、新規材料販売の寄与により順調に伸長
- ✓ 電子材料関連は、海外向けの回復や太陽電池関連材料が好調に推移し増収
- ✓ 装置関連は、大型真空装置の検収が集中したこと等により大幅増収

化学 品 ⇒ 対前年同期比 +17.5% 73億円増

- ✓ 機能化学品関連では、シリコン関連ビジネスが伸長した一方、樹脂原料は減少
- ✓ 塗料・インキ・接着剤関連は、特に自動車向けウレタン原料が好調
- ✓ 医農薬関連では、フランスのファインケミカル事業をはじめとして好調に推移
- ✓ 海外事業は総じて好調に推移

合成樹脂 ⇒ 対前年同期比 +26.0% 259億円増

- ✓ 東南アジアを筆頭に海外事業が大きく伸長
- ✓ 高性能樹脂は、輸出が中国向けを筆頭に好調で対前年同期比大きく増加
- ✓ 汎用樹脂の国内販売は、価格が回復傾向にある中、販売量も対前年同期比増加
- ✓ フィルム、シート関連は、野菜向けは低調、他の食品用途は順調に伸長

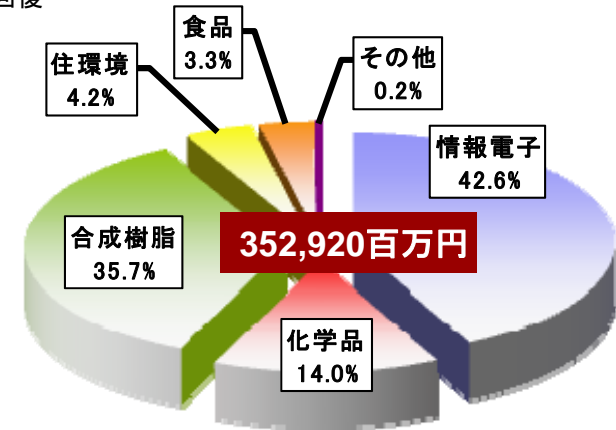
住 環 境 ⇒ 対前年同期比 +13.3% 17億円増

- ✓ 住環境事業は、戸建住宅が首都圏を中心に好調に推移し売上が伸長
- ✓ 住宅・産業資材関連は、フローア、階段、樹脂建材等の新規テーマが順調に推移
- ✓ 木材・建材関連は、木材関連の輸出入が堅調で、特に三国間貿易が好調

食 品 ⇒ 対前年同期比 △4.0% 4億円減

- ✓ エビ、ウニを主力とする水産物は、大手回転ずしチェーンへの販売が順調
- ✓ 農産物は、主力の冷凍ブルーベリーの販売が順調で、対前年同期比で売上増加
- ✓ 国産冷凍野菜は、冷凍品の売上が好調に推移
- ✓ 前期一部残っていた畜産事業がなくなり、その分売上高は減少(約4.3億円)

事業セグメント別売上高



2011年3月期 第3四半期		
	売上高(百万円)	前年同期比(%)
情 報 電 子	150,379	20.3
化 学 品	49,380	17.5
合 成 樹 脂	125,839	26.0
住 環 境	14,924	13.3
食 品	11,678	△4.0
そ の 他	717	△46.6
合 計	352,920	20.2

2011年3月期 第3四半期 事業セグメント別営業利益

情報電子 ⇒ 対前年同期比 **+67.5%** 10億円増

✓ 主力の液晶関連及び複写機関連を中心に堅調に推移

化学品 ⇒ 対前年同期比 **+240.4%** 7億円増

✓ 機能化学品関連、ライフサイエンス関連ともに総じて好調であったことに加え、ファインケミカルを中心とするフランスでも好調に推移したことから増加

合成樹脂 ⇒ 対前年同期比 **+142.4%** 14億円増

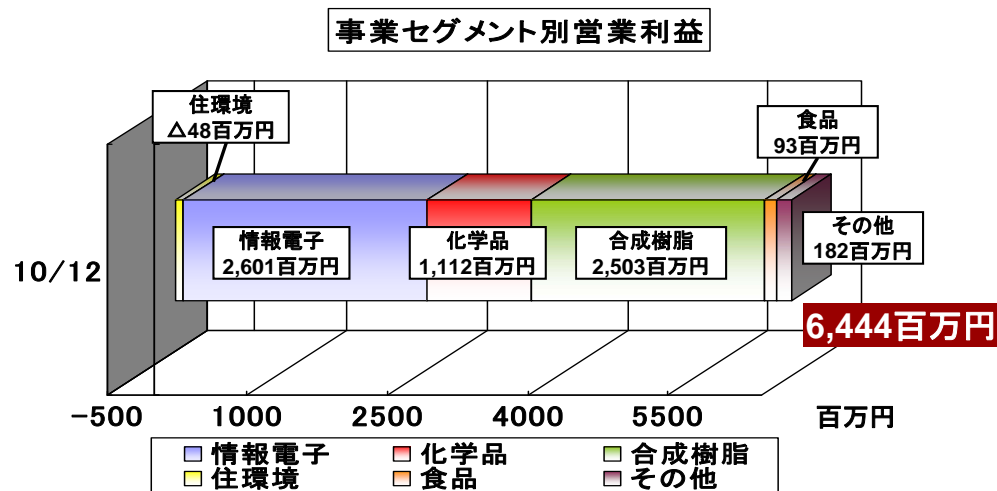
✓ 世界不況の影響が残っていた前年同期と比較し、東南アジアを中心に大幅に回復

住環境 ⇒ 対前年同期比 **5千万円減**

✓ 在庫の評価減や販売管理費が増加したこと等により、営業利益は減少

食品 ⇒ 対前年同期比 **1億円増**

✓ 売上高は減少したものの、在庫整理が進展し、粗利率が改善されたこと等により、営業利益では対前年同期比増加



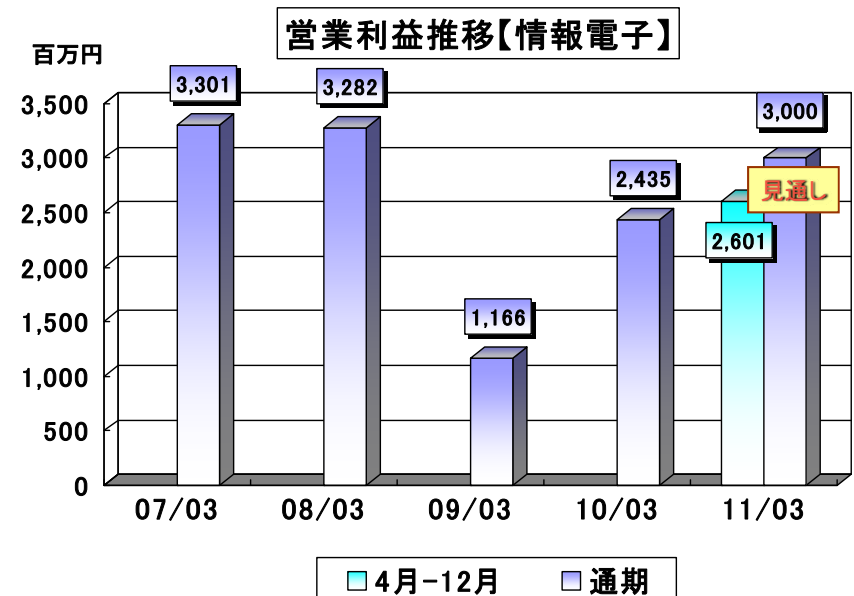
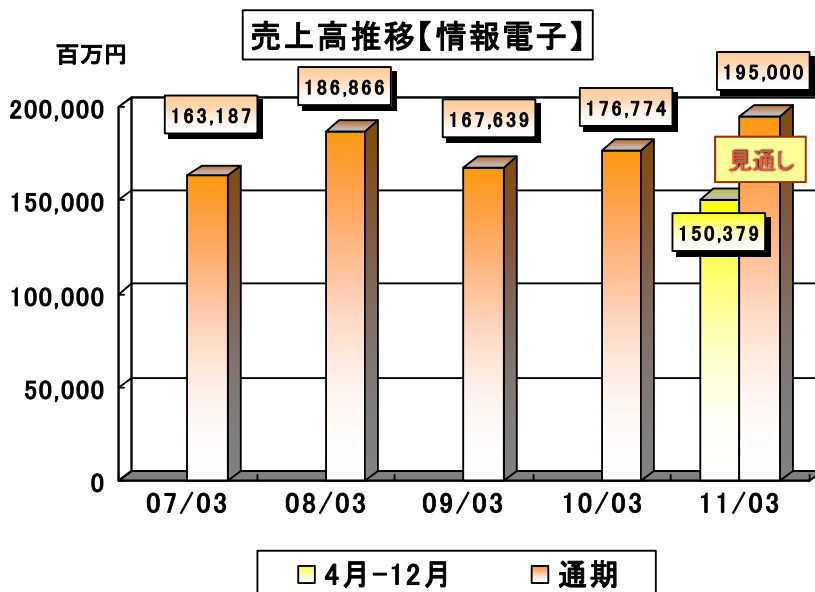
2011年3月期 第3四半期		
	営業利益(百万円)	前年同期比(%)
情報電子	2,601	67.5
化学品	1,112	240.4
合成樹脂	2,503	142.4
住環境	Δ48	—
食品	93	—
その他	182	Δ11.8
合計	6,444	110.7

※前年同期 住環境 9 食品 Δ69

2011年3月期 第3四半期 主要事業の個別概況(情報電子)

売上高 対前年同期比 +20.3% 254億円増加

- 主力の偏光板では第2四半期における生産調整の影響が10月ごろまで残ったものの、その後回復に転ずる
- LEDを使用した液晶テレビの生産拡大により、導光板などの周辺部材が大きく伸長
- プリンター・複写機関連では、業界が回復傾向となる中、新規材料販売が寄与し順調に推移
- 電子材料関連は、国内向けマスク blanks が低調に推移した一方、太陽電池関連材料が好調に推移し増収
- 装置関連は、大型真空装置の検収が集中したことに加え、ハンドラー、検査装置も回復基調となり大幅増収

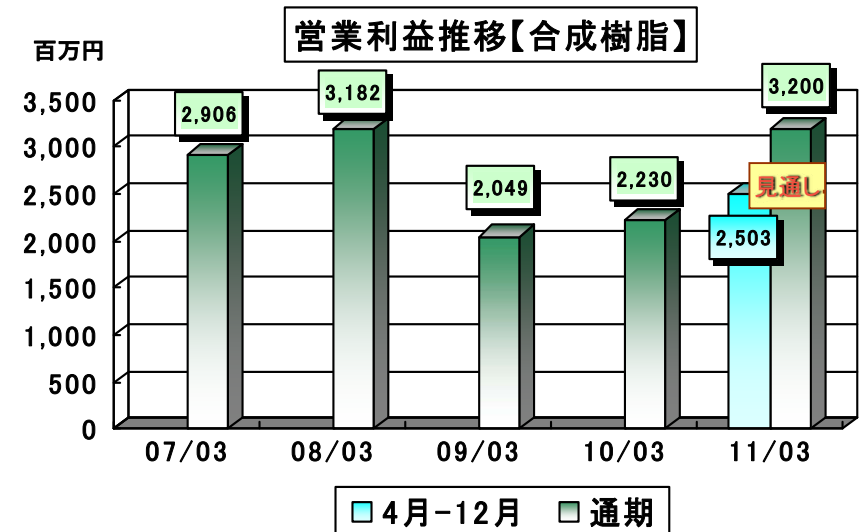
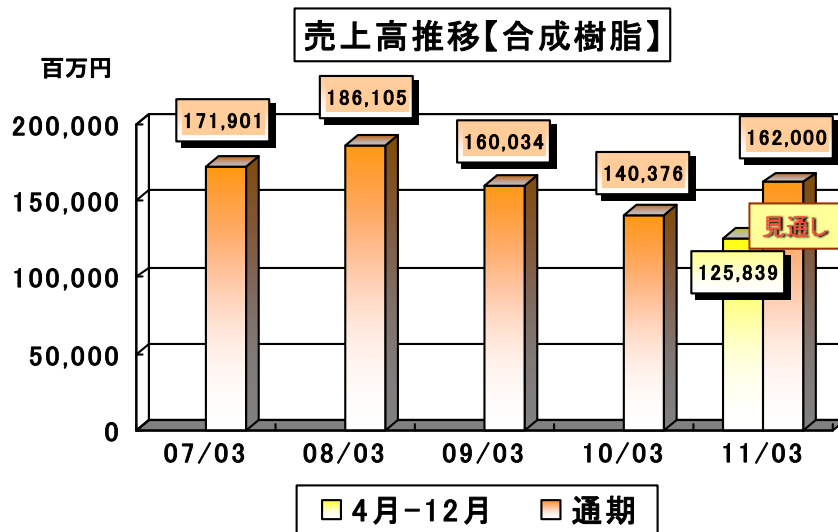


'11年3月期の数字はあくまで予想であり将来にわたり環境などの変化により数字は変動致します

2011年3月期 第3四半期 主要事業の個別概況(合成樹脂)

売上高 対前年同期比 +26.0% 259億円増加

- 東南アジアを筆頭に海外事業が大きく伸長
- 高機能樹脂は、引き続き回復基調となり、輸出は中国向けを筆頭に東南アジア向けも堅調で対前年同期比で増加
- 汎用樹脂の国内販売は、価格が回復傾向にある中、販売量も前年同期を上回り好調
- フィルム、シート関連は、秋にかけ野菜包装向けが低調であった一方、他の食品用途は11月から年末にかけて順調に伸長
- 国内グループ加工会社は原料価格上昇の影響を受ける中、製品価格の維持や経費の圧縮に努め、収益面は順調に推移



'11年3月期の数字はあくまで予想であり将来にわたり環境などの変化により数字は変動致します

2011年3月期 第3四半期 地域別概況

東南アジア ⇒ 対前年同期比 +48.7% 175億円増

- ✓ 各国で需要回復が顕著にみられ、大幅に伸長
- ✓ シンガポールは、コネクタ、半導体、家電向けの樹脂販売及び液晶関連が伸長
- ✓ タイは、車両、電子部品関連を中心に樹脂、化学品販売が大きく伸長
- ✓ インドネシアは、国内経済の好調に伴い、車両関連、家電向け樹脂販売が伸長

北東アジア ⇒ 対前年同期比 +28.6% 142億円増

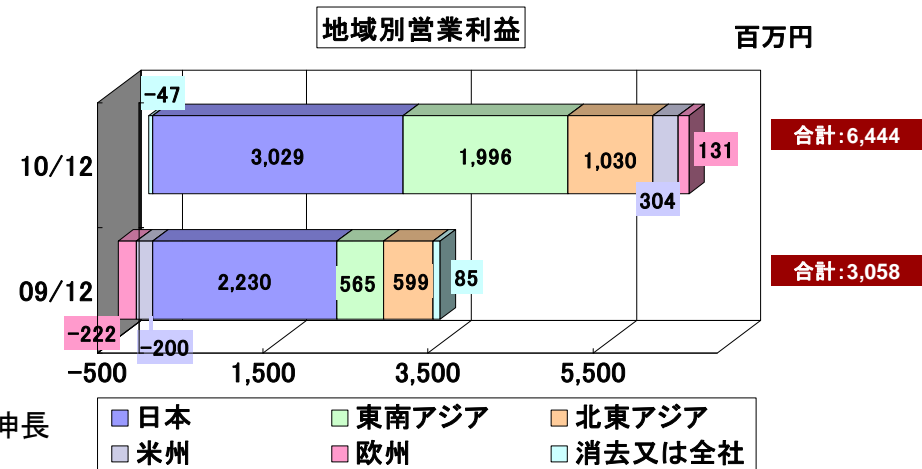
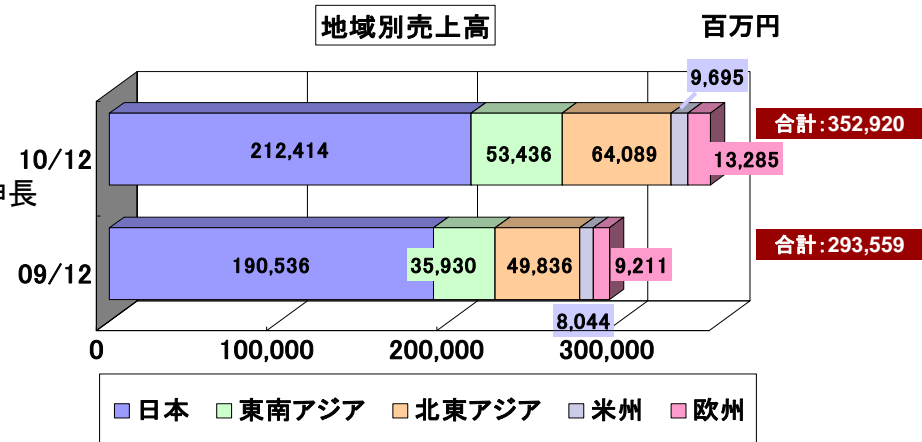
- ✓ 一部製造部門などで苦戦しましたが総じて好調
- ✓ 香港では、合成樹脂、情報電子関連が中国向けを中心に好調に推移
- ✓ 華東では、合成樹脂、液晶関連、化学品等全般的に大きく伸長
- ✓ 台湾、韓国では、液晶関連を中心に大きく伸長

米州 ⇒ 対前年同期比 +20.5% 16億円増

- ✓ 半導体関連では、業界の需要回復に伴いマスクブランクスが伸長
- ✓ 前年実績のなかった太陽電池関連の売上が貢献
- ✓ ケミカルは、全般的に堅調に推移

欧州 ⇒ 対前年同期比 +44.2% 40億円増

- ✓ 欧州では、情報電子や化学品関連を中心に総じて回復基調
- ✓ 情報電子関連は、ポーランドでの液晶パネル材料の販売が大きく伸長
- ✓ フランスではファインケミカルを中心に好調に推移



2011年3月期 第3四半期 連結子会社概況

- アイケイファーマシー(株)は、全保有株式を譲渡したことにより、第1四半期期末で連結の範囲から除外
- 丸石化学品(株)は、株式取得(発行済株式の20%)により、第1四半期期首より持分法適用関連会社へ

	連結子会社状況(内訳)		
	国内	海外	合計
連結子会社	12 (△1)	40	52 (△1)
持分法適用関連会社	4	3 (△2)	7 (△2)
合計	16 (△1)	43 (△2)	59 (△3)

(参考) ()内数値は、対前期末比増減であります。

2011年3月期 連結業績予想(通期)

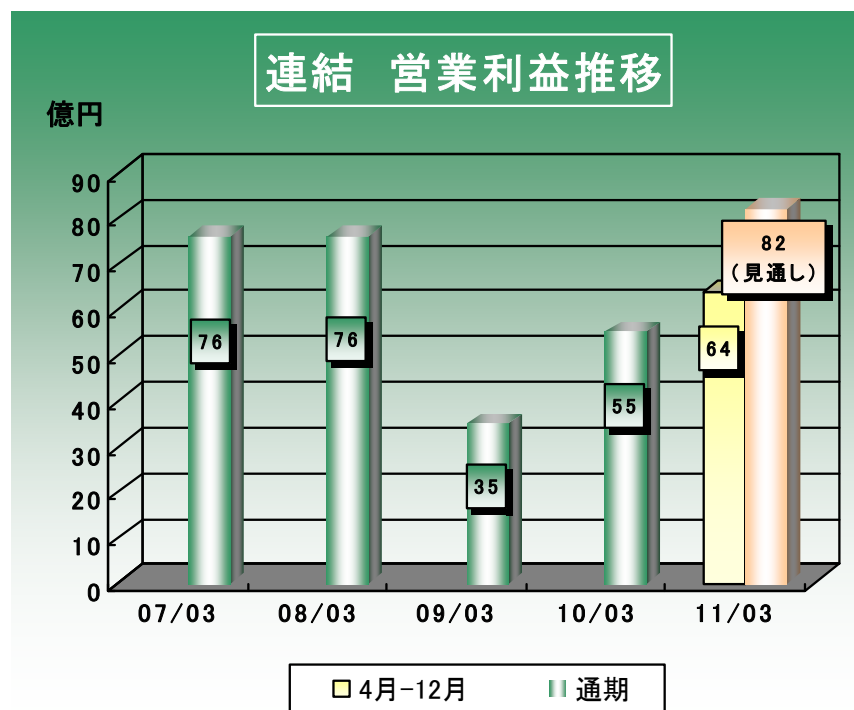
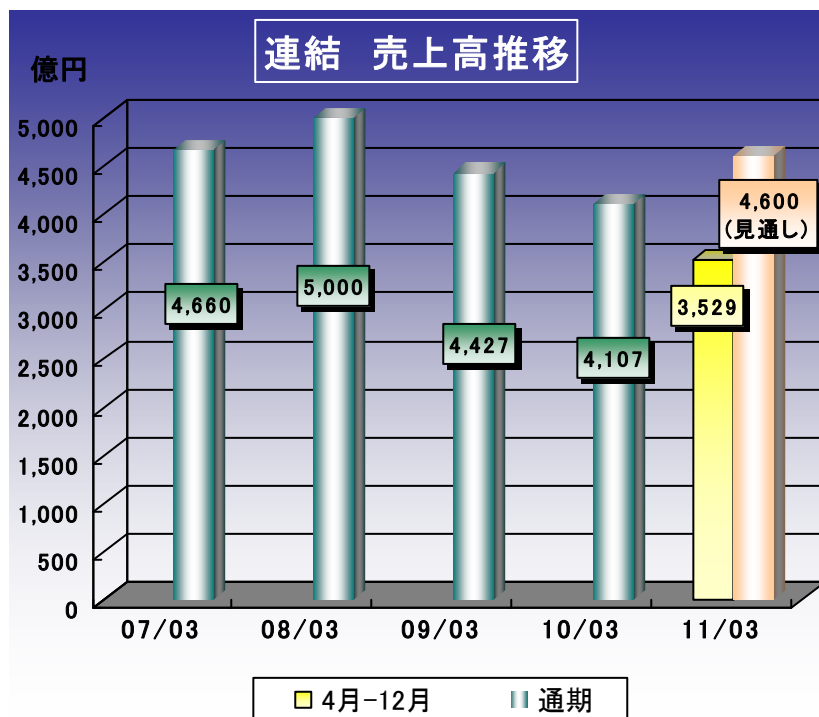
(単位:百万円)

	2011年3月期 第3四半期		2011年3月期 通期見通し (8月10日公表)			
	達成率 (%)		2010年3月期 通期実績	増減	増減率	
売上高	352,920	76.7%	460,000	410,782	49,218	12.0%
営業利益	6,444	78.6%	8,200	5,510	2,690	48.8%
経常利益	6,817	94.7%	7,200	4,889	2,311	47.3%
四半期(当期) 純利益	5,239	87.3%	6,000	1,762	4,238	240.5%
1株当たり四半期 (当期)純利益	80.63	—	92.37	27.08	—	—

'11年3月期の数字はあくまで予想であり将来にわたり環境などの変化により数字は変動致します

売上高と営業利益の推移と見通し(07年3月期～11年3月期)

- 引き続き主力の情報電子、合成樹脂を中心に積極的かつグローバルな事業展開を推進



'11年3月期の数字はあくまで予想であり将来にわたり環境などの変化により数字は変動致します

株主への還元

(基本方針)

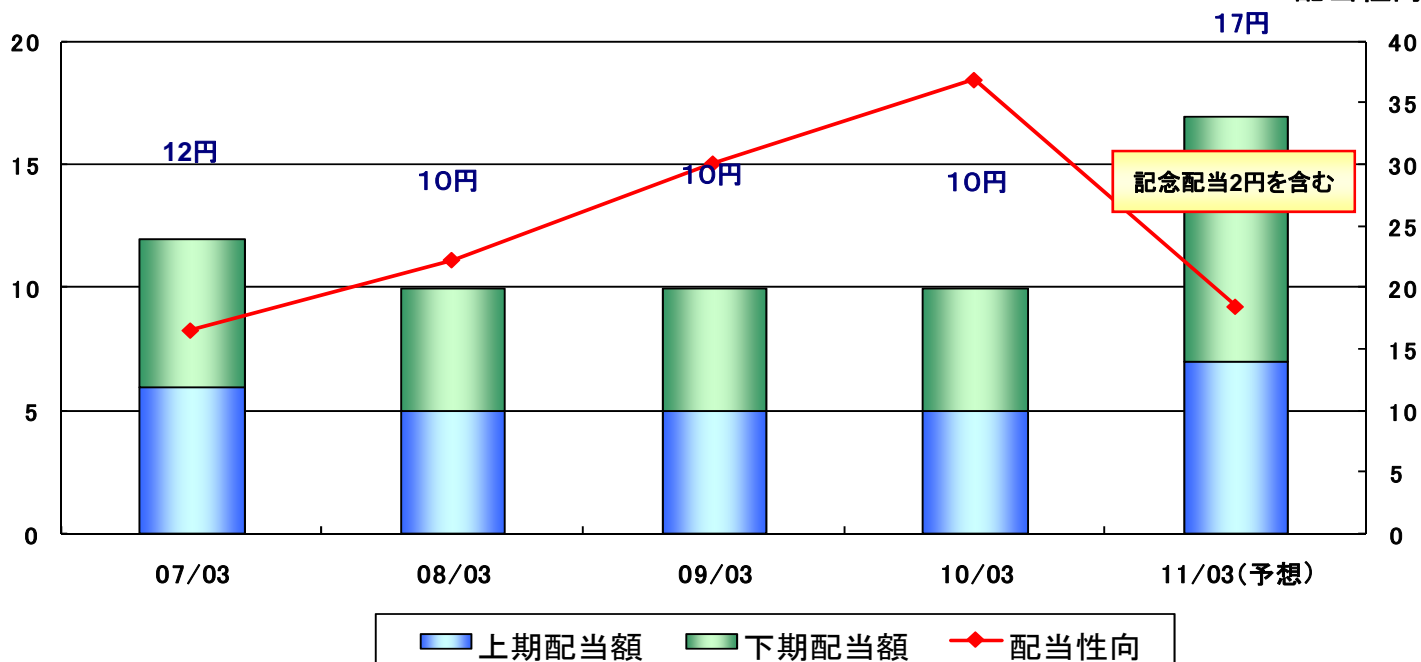
- 事業収益やキャッシュ・フローの状況などを勘案し、連結純利益の20%~30%程度を目安とし、今後の企業価値向上に向けての中長期的な投資などを考慮しつつ総合的な判断で決定。
- 利益水準に関わらず、原則として1株あたり最低限年間10円の配当金の維持に努める。

(2011年3月期)

- 連結業績における当期純利益が増益となることを予想していることから、普通配当を1株当たり15円(年間)とするとともに、創業120周年記念配当2円を加え、合計17円とする予定です。
- なお、中間配当として1株につき7円を実施いたしました。

配当額(円/株)

配当性向(%)



今後の方針

- 有望なアライアンスの締結の促進と自社企画プロジェクトの拡充
- 引き続き国内外の連結経営を強化、収益力の向上、人材の育成に一層注力する。
- シナジー効果の実現を重点に置いた事業の再構築を推進
- 資金の効率化の更なる向上と財務体質の強化
- グループ会社を含む全社員で内部統制の推進に取り組むとともに内部統制システムの充実を図る